

一 對抗スルヲ得ルニ意味ヲ悔逆セリ

一 先散會ノ後幹部側引致シ全所ニ電線ヲ互感運動

宣傳スルニ撤布ノ極限ヲセリ 一 先々月日干前一部

職工ハ三越前道路ニ於テ諸君ニ新ニ印刷物ヲ

撤布セタルヨリ新職望ニ意味ヲ示シテ之ヲ取テ止セリ

廿九日午後四時男女愛會力一友ニ反自職ニ坦定ヨリ電氣機軸

ニ組合並給電職工等ハ三越前方面想所ニ入り日本橋

夫總同盟並川北區瑞新人セリトシ組合加派ヨリ

日布労働虎石里鐵一ノ至定志以労働者平岡誠曠氏

會ハ八幡黨松中石山労働會並川北區他ノ同僚多

會セ労働歌又ノ革命歌ヲ合唱セテ次々ニ其勢ヲ固

庶民又ハ演説ニ於テ三越ノ能心度ヲ非難スル革命運動

言辭ヲ為セ且ニ麻生久柵橋十虎友愛會幹部ヲ存

素場柵橋指揮ノ下ニ店內各室ヲ練歩シテ店內諸

所又ハ休憩所並出入口ヲ要求条件提ル並ニ宣言書ヲ

撤布シ神田松本亭ニ引揚ケタリ 以自檢束セラルル

ハ名

一 日所轄區留置署長ハ麻生柵橋ニ對シ職工等ノ復

職希望ヲ示ハ相告職工代表者多進ムルニ至リ接見

セタルハ労働者連レテ拒マサル旨述ヘラルルニ於テ三十日職

工代表者五名所轄區留置署長ノ手ヲ經テ幾度モ交渉

スルニ及リ全見セ要事条件第一項ハ一月十五日ヨリ實施ス

ル一、二、四項解職手書ハ可成早ク具體妥トセラル

表ノ下ニ經テ三月廿一日ヨリ全部ノ職工ヲ復職セラルルニ決

シ覺書ヲ交シテ午後一先落着キ給ケタリ

職工等ノ事件は構一解決ニ三月廿一日松本亭ニ集會シタルニ